

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 こもれび西野		
○保護者評価実施期間	2025年2月10日		～ 2025年3月6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名(19家庭)	(回答者数) 17名(14家庭)
○従業者評価実施期間	2025年2月10日		～ 2025年3月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月6日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動ごとにエリア分けされている為、集中して活動に参加できる	・個々の様子に合わせた環境を作ることができ、クールダウンをする機会になったり、イレギュラーな個別対応なども出来る	こだわりに左右されないような掲示物を含めた環境設定を心掛けています
2	低年齢療育(主に幼児期)を専門としている為、年齢に合わせた目標設定や療育内容の充実が図れる	・就学・就園(集団)に向けた集団へのスモールステップ計画や、スキルの獲得	職員全員が発達段階を把握し、理解を深めるための定期的な職員研修や、日々のミーティングの充実。また、毎年の農業体験を含め、戸外活動の充実により、スキルの獲得と心身の発散を促します
3	ご家庭に寄り添い、家庭支援の充実	・ご家庭との定期的な面談や日々の個別相談の対応。保護者会の開催 ・関係機関(通園先、保健センター、医療機関、相談室等)との細かな連携	様々な形態の保護者会の開催 令和7年度も保護者様同士の交流が図れる茶話会を計画しております
4	言語聴覚士の配置による専門的な支援	・全職員が対象児童個々の目標や具体的療育内容の共通認識とトレーニング参加	職員全体研修の実施

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	完全なバリアフリーにすることが難しいため、車いすの乗り入れが困難であり、装具着用児や肢体不自由児等の利用の場合更なる安全確保が重要になる	玄関前の階段や室内の各部屋出入口の段差(建物構造)	必要に応じ、可能な限りのバリアフリー用具の設置。滑り止めの設置
2	様々な活動の保護者様への周知と発信	ブログの更新が不定期な事や、毎月のプログラムの予定表内の柔軟性。	毎月発行しています予定表内に、ブログの更新内容や職員情報などの掲載をし、活動報告の周知を図ります。また、ブログの内容も見直し、多岐に渡ってお知らせできるように工夫していきます

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	公表日					回収数		
児童発達支援 こもれび西野	2025年 3月 14日					2025年 3月 14日 現在	23名	
						14/19枚	(家庭数)	
環境・体制整備	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	1			・十分に広いスペースがあると感じる ・広々としたスペースで、目的に合わせて区切れ、十分に確保できています	ご意見有難うございます
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13			1	・個別でしっかりと対応していただき、子どもの様子を見て頂いております	ご意見有難うございます
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	1		3	・「学習する場所」「運動する場所」等、構造化され見守りやすい環境です	階段部分に手すりをつける等の補助員は設置済みですが、建物の構造上完全なバリアフリーは難しいのが現状です。それを踏まえて、安全面を考慮した環境設定をしていきます。視覚支援力を入れており、お子様がスムーズに基本的な生活習慣が身に付けられるよう継続支援していきます
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14				・清掃が行き届き、明るく清潔です	ご意見有難うございます	
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	1		1	・特性の良い所・悪い所も見抜いて頂き、寄り添っていただいています	言語聴覚士による専門的指導の実施や、特性対応等の職員研修の実施により支援の質の向上を図っています
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12			2	・とても一致していただき、満足したプログラムです	ホームページにて具体的な支援プログラムを公表いたしました
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14				・事業所での様子、保護者からの見解を取り入れ、しっかりと計画を作成していただいております	ご意見有難うございます
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	1			・具体的な支援内容が設定され、口頭でもご説明していただき、適切な設定だと思います	今後も引き続き丁寧なご説明を心掛けていきます
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14				・親が思っていた以上、期待以上に計画に沿った支援を行っていただいております	ご意見有難うございます
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13			1	・毎日違った楽しそうなプログラムが用意されていると思う ・日々様々なプログラム、療育時間中も多くのカリキュラムを取り入れて頂いております	ご意見有難うございます
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	9	3		2	・担任の先生と電話にて保育園の様子をうかがっていたり、園への見学訪問等、積極的に連携を図っていただいております	平日午前及び土曜日に、連携先幼稚園様の園行事に参加させて頂いたり、地域の児童会館での活動に参加したりしております。今後はすべての利用者様が活動参加出来るよう、計画していきます
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14				・細かく説明していただき、しっかりと確認できました	ご意見有難うございます
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14				・丁寧に説明していただきました	ご意見有難うございます
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	2			・今後面談の予定がございます	ご家族様向けのセミナーや研修会の情報がございましたら、引き続きお便りなどでお知らせいたします
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14				・とても状況を見て頂いており、報告・相談してもらってます	ご意見有難うございます
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13			1	・利用時、毎回支援していただいています	定期的なモニタリング面談はもちろん、送迎時も是非ご支援致します。その他、利用時の連絡ノートやLINEも活用頂いております
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14				・職員の皆様には、子供との関わりをしっかりしていただいています	ご意見有難うございます
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	3	1	2	・今後父母会があれば、是非参加したいです！	今年度は保護者会の一つとして管理栄養士による「食育講座」を開催しました。また、例年秋に農業体験で収穫した作物を使用し、保護者様参加歓迎の「収穫祭」は大勢のご家族様にご参加頂きました。次年度は、保護者同士の交流が主な「茶話会」を計画しております
19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14				・すぐご親身かつ迅速に対応していただきました	ご意見有難うございます	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14			・LINEのアイコンがあるとわかりやすく有難いです ・連絡ノート、口頭にて両方でお伝えいただいています	ご意見有難うございます
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12		2	・予定表を毎月送っていただいています。 利用時の様子の写真があれば嬉しいです	ホームページにてブログに日々の活動の様子をお知らせしており、自己評価表も掲載しております。また、定期的な面談の際、お子様の個別・集団活動の様子を写真と合わせてお渡ししております
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13		1	・安心して利用しています	鍵付き書庫に保管しておます 個人情報の取り扱いを職員研修にて注意喚起しております
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11		3	・しっかりと説明を受けています	職員研修にて、マニュアルの周知取組を 実行しています。今後、保護者様に周知・徹底をしていきます
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11		3		毎月避難訓練を実施しています さらに具体的に災害を想定した職員訓練も計画しております
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12		2		年間の「安全点検計画」を策定し、施設内に掲示しております
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13		1		初動を速やかに行うよう心掛けておりますが、何かございましたらご連絡いただけますと幸いです
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14			・いつも子供の事を考えて下さり、ありがとうございます ・毎日楽しく通所しており、安心して過ごせていると感じる ・毎日楽しみに早く出発したが、ワクワクしております！	ご意見有難うございます
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14			・いつも楽しく通っています！ ・子の成長と共に感じ喜ぶ会えるのがすごくうれしいです ・好きなプログラムの時は「楽しみ～」という言葉が聞かれます ・はい！お迎えを楽しみにしており、通所後も「楽しかった！」と教えてくれます	ご意見有難うございます
	29	事業所の支援に満足していますか。	14			・満足です ・とても満足しており、通所してから子供がイキイキし成長を感じます	ご意見有難うございます 今後ともどうぞ宜しくお願い致します！

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援 こもれび西野		公表日	2025年 3月 14日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		特性やその時の利用人数等を考慮し、密になることの無いよう柔軟に環境設定しております	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		基準より多く職員を配置しております	送迎時等の職員配置日案の策定
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		活動スペースを分け、視覚から適切に情報が得られるように掲示の量や配置を工夫しております	安全に配慮した環境設定
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		こまめな清掃、消毒を心掛けております	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		クールダウン等状況に合わせてエリアの活用や柔軟な個別対応をしております	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		朝夕のミーティング以外にも、都度子供たちの状態に合わせて話し合っています	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		アンケートによる貴重なご意見を踏まえ、事業所内の会議で話し合い、改善につなげております	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		アンケートによる意見を踏まえ、事業所内の会議で話し合い、改善につなげております	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		支援センターの方に支援内容を評価・助言頂きながら業務に活かしております	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		年間研修計画を作成し、外部研修・内部研修と多岐に渡る研修の機会を確保しています	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		職員周知しております。プログラム内容はホームページに掲載しております	保護者様に支援プログラムの周知徹底をしていきます
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		保護者様と定期的な面談を行い、ニーズと特性を踏まえて作成しております	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		職員全員で、保護者様・お子様の両面で考える場面を作っております	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		丁寧な職員会議を心掛けております	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		アセスメントシートを使用し、発達年齢の指標として保護者様と共有しております	個々の特性理解の為にインフォーマルなアセスメントツールの活用にも再度取り組んでいます
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		ご家族様のニーズを踏まえ、個々の発達段階に合わせて支援内容の設定をしております	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		立案・作成を複数の職員で行っております	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		季節の行事も楽しみに参加を待てるよう計画したり、利用児童の年齢や特性に応じ、環境・素材・内容等考慮し工夫しております。また、毎日の活動に統合活動も取り入れ、体験や感覚の強化にも力を入れています	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		障がいや特性に応じ、適宜組み合わせる作成しております	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝、送迎前に留意事項や活動内容の説明等を行っております	連絡漏れを防ぐために、職員用の連絡ノートや連絡掲示の活用もしています
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		記録表の記入とともに、その日の振り返りを行っています	連絡漏れを防ぐために、職員用の連絡ノートや連絡掲示の活用もしています
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		細かな療育記録を徹底することで、職員の共通認識及び、適切な支援に繋がっています	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年（以内）毎に、アセスメント・モニタリングを行い、計画の更新を行っております	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		主に管理者・児童発達支援管理責任者が参画しております	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		区の保健センター、幼稚園や保育園、児童相談所等、利用施設と連携を取り、情報共有を行っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		支援の様子などの見学に対応したり、スムーズな移行等の為、必要な情報を細やかにやり取りし連携しております	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者様同意のもと、書面での情報共有や、訪問により支援会議などを行いました	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		定期的な研修会の開催等参加し、また日々の療育にも助言を頂いております	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		幼稚園さんの発表会練習や運動会などに見学・参加させていただきました	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡ノートやLINEの活用及び送迎時に情報交換を心掛けています	
保護者への	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		定期的な研修やイベントの開催により職員との交流、情報提供の機会を設けております	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明と同意を行っております	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		定期的な面談時及び日々の連絡や相談により保護者様から聞き取りを行っております	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		原案の提示・説明ののち、支援計画書のご説明を行っております	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		送迎時、連絡ノート、LINE、面談等で相談に応じております	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		ご家族様参加歓迎で、こもれび畑の作物の収穫祭を開催し、大勢の保護者様、ご兄弟が参加されました	・交流の場を定期的に開催出来るよう検討いたします

説明等	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		重要事項説明書に苦情の受付について記載しております。初動は丁寧・迅速に行うよう心掛けております	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月予定表を発行し、ホームページのブログにて活動報告を行っております。また、面談時に写真を添付した個別・集団療育の様子を書面にてお渡ししております	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		契約時に同意書の記入をお願いしております。また、事業所内職員にも取り扱いについて指導しております	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		絵カードを用意したり、ノートやLINEを活用しております。また必要に応じて、再度ご連絡しております	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域住民とともに活動できるイベントを考えていきたいです
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを策定しており、避難場所、避難経路を保護者様にお知らせしております。避難訓練も各災害を想定して実施しております	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し、内容に沿って訓練をしております	保護者様へ広く周知出来るよう工夫していきます
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に確認しております。必要に応じ薬情を頂いております	担当する職員だけではなく、全職員が認知する必要がある為、研修等定期的に行い、周知・徹底を図ります
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約時に確認しております。アレルギー対応の児童においては、適切な対応を職員間で共有いたします	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		年間の安全計画を作成し、安全管理に努めております	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画は施設内に掲示しております	連携が取れるよう積極的に周知していきます
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットを作成し、再発防止に繋げております	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会により定期的な職員研修をしております	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束適正化指針の保護者へ配布とともに、緊急性・切迫性・非代替性についての説明を行い、支援計画に記載し同意を頂いております		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス こもれび西野		
○保護者評価実施期間	2025年2月10日		～ 2025年3月6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3名(3家庭)	(回答者数) 3名(3家庭)
○従業者評価実施期間	2025年2月10日		～ 2025年3月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月6日		

○分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動ごとにエリア分けされている為、集中して活動に参加できる	・個々の様子に合わせた環境を作ることができ、クールダウンをする機会になったり、イレギュラーな個別対応なども出来る	こだわりに左右されないような掲示物を含めた環境設定を心掛けています
2	小学生が少ないので密なケアができる	入学というライフステージの変化で起こりうる心の乱れに寄り添うことが出来ています	役割分担をしたり等、事業所の最年長児としての責任感を持てるようにしております。また、毎年の農業体験を含め、戸外活動の充実により、スキルの獲得と心身の発散を促します
3	ご家庭に寄り添い、家庭支援の充実	・ご家庭との定期的な面談や日々の個別相談の対応。保護者会の開催 ・関係機関(通学先、家庭児童相談室、医療機関、相談室等)との細かな連携	様々な形態の保護者会の開催
4	言語聴覚士の配置による専門的な支援	・全職員が対象児童個々の目標や具体的療育内容の共通認識とトレーニング参加	職員全体研修の実施

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	サービス利用対象 幼児～小学校1年生までの為 2年生からの他事業所への移行	低年齢療育専門事業所の為	こもれび西野卒業を迎えるまでに小学校生活の安定を図ります。また、必要に応じ移行のお手伝いをしております
2	完全なバリアフリーにすることが難しいため、車いすの乗り入れが困難であり、装具着用児や肢体不自由児等の利用の場合更なる安全確保が重要になる	玄関前の階段や室内の各部屋出入口の段差(建物構造)	必要に応じ、可能な限りのバリアフリー用具の設置。滑り止めの設置

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス こもれび西野

公表日 2025年 3月 14日

利用児童数 2025年 3月 14日 現在 3名 回収数 3/3枚

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3					評価頂き有難うございます
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	3					評価頂き有難うございます
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3					評価頂き有難うございます
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	3					評価頂き有難うございます
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3					評価頂き有難うございます
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3					評価頂き有難うございます
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3					評価頂き有難うございます
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3					評価頂き有難うございます
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3					評価頂き有難うございます
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3					評価頂き有難うございます
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。				3		土曜日は地域の児童会館へ訪問し活動させて頂いております。次年度は長期休暇時等も活動の幅を広げられるよう計画します
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3					評価頂き有難うございます
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3					評価頂き有難うございます
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3					評価頂き有難うございます
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	3					評価頂き有難うございます
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3					評価頂き有難うございます
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3					評価頂き有難うございます
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	2	1				今年度は保護者会の一つとして管理栄養士による「食育講座」を開催しました。 また、例年秋に農業体験で収穫した作物を使用し、保護者様参加歓迎の「収穫祭」は大勢のご家族様にご参加頂きました。 次年度は、保護者同士の交流が主な「茶話会」を計画しております
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3					評価頂き有難うございます	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3					評価頂き有難うございます
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3					評価頂き有難うございます
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3					評価頂き有難うございます
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3					評価頂き有難うございます
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3					評価頂き有難うございます
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3					評価頂き有難うございます
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3					評価頂き有難うございます
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	3					評価頂き有難うございます
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	3					評価頂き有難うございます
	29	事業所の支援に満足していますか。	3					評価頂き有難うございます

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス こもれび西野					公表日	2025年 3月 14日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		用途に分けて支援室を利用し、適切なスペースで運営しております。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準より多く人員を配置しております			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		絵カードを活用し、わかりやすい環境設定をしております。子供の様子や活動によって日々柔軟に対応しています	建物の構造上完全なバリアフリーにならず、都度安全に配慮しております		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日清潔を心掛けた整理整頓を心掛けております			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		柔軟に対応しております			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		外部研修や合同研修、毎月の事業所研修や会議において、業務改善に取り組んでおります			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		アンケートによる貴重なご意見を踏まえ、事業所内の会議で話し合い、改善につなげております			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		アンケートによる貴重なご意見を踏まえ、事業所内の会議で話し合い、改善につなげております			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		支援センターの方に支援内容を評価・助言頂きながら業務に活かしております			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		年間研修計画を作成し、外部研修・内部研修と多岐に渡る研修の機会を確保しています			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		職員周知しております。プログラム内容はホームページに掲載しております	保護者様に支援プログラムの周知徹底をしていきます		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		保護者様と定期的な面談を行い、ニーズと特性を踏まえて作成しております			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員全員で、保護者様・お子様の両面で考える場面を作っております			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		丁寧な職員会議を心掛けております			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメントシートを使用し、発達年齢の指標として保護者様と共有しております	個々の特性理解の為にインフォーマルなアセスメントツールの活用にも取り組んでいきます		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ご家族様のニーズを踏まえ、個々の発達段階に合わせ支援内容の設定をしております			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		立案・作成を複数の職員で行っております			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		季節の行事も楽しみに参加を待てるよう計画したり、利用児童の年齢や特性に応じ、環境・素材・内容等考慮し工夫しております。また、毎日の活動に統合活動も取り入れ、体幹や感覚の強化にも力を入れています			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		障がいや特性に応じ、適宜組み合わせで作成しております	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝、送迎前に留意事項や活動内容の説明等を行っております	連絡漏れを防ぐために、職員用の連絡ノートや連絡掲示の活用もしています
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		記録表の記入とともに、その日の振り返りを行っています	連絡漏れを防ぐために、職員用の連絡ノートや連絡掲示の活用もしています
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		細かな療育記録を徹底することで、職員の共通認識及び、適切な支援に繋がっています	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年（以内）毎に、アセスメント・モニタリングを行い、計画の更新を行っております	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		4つの基本活動を含んだ総合的な活動が行われています	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・絵カード等を用いて選択の意思を育めるよう取り組んでいる	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		主に管理者・児童発達支援管理責任者が参画しております	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		区の保健センター、学校、児童相談所等、利用施設と連携を取り、情報共有を行っております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		毎月送迎時刻と場所や行事予定の情報共有を行い、変更や確認は細やかに行っています	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		スムーズな就学に向けて保育園や幼稚園と情報共有し、連携を行いました	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			対象児童がいないため
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		定期的な研修会の開催等参加し、また日々の療育にも助言を頂いております	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		今年度は地域の児童会館へ年5回訪問し活動させていただきました。別の児童館へも数回伺い、イベント等に参加しました	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		積極的に参加しております	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡ノートやLINEの活用及び送迎時に情報交換を心掛けています	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		定期的な研修やイベントの開催により職員との交流、情報提供の機会を設けております	
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明と同意を行っております	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		定期的な面談時及び日々の連絡や相談により保護者様から聞き取りを行っております	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		原案の提示・説明ののち、支援計画書のご説明を行っております	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		送迎時、連絡ノート、LINE、面談等で相談に応じております	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○		ご家族様参加歓迎で、こもれび畑の作物の収穫祭を開催し、大勢の保護者様、ご兄弟が参加されました	・交流の場を定期的に開催出来るよう検討いたします

説明等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		重要事項説明書に苦情の受付について記載しております。初動は丁寧・迅速に行うよう心掛けております	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月予定表を発行し、ホームページのブログにて活動報告を行っております。また、面談時に写真を添付した個別・集団療育の様子を書面にてお渡ししております	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		契約時に同意書の記入をお願いしております。また、事業所内職員にも取り扱いについて指導しております	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		絵カードを用意したり、ノートやLINEを活用しております。また必要に応じて、再度ご連絡をしております	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域住民とともに活動できるイベントを考えていきたいです
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを策定しており、避難場所、避難経路を保護者様にお知らせしております。避難訓練も各災害を想定して実施しております	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し、内容に沿って訓練をしております	保護者様へ広く周知出来るよう工夫していきます
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		契約時に確認しております。必要に応じ薬情を頂いております	担当する職員だけではなく、全職員が認知する必要がある為、研修等定期的に行い、周知・徹底を図ります
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約時に確認しております。アレルギー対応の児童においては、適切な対応を職員間で共有いたします	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		年間の安全計画を作成し、安全管理に努めております	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画は施設内に掲示しております	連携が取れるよう積極的に周知していきます
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットを作成し、再発防止に繋げております	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会により定期的な職員研修をしております	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束適正化指針の保護者へ配布とともに、緊急性・切迫性・非代替性についての説明を行い、支援計画に記載し同意を頂いております		